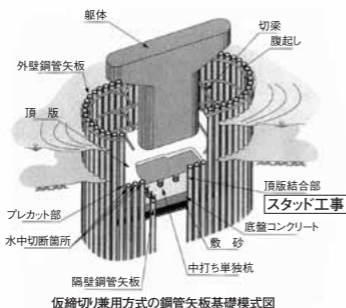


### NSスタッド工法 鋼管矢板井筒基礎頂版結合工事 日鉄物産（株）

#### 紹介

橋梁下部工の構築には「鋼管矢板基礎」があり、特に河川部或いは工事用地に制限がある場所で多く採用されています。

この鋼管矢板基礎の頂版結合部に当社が開発した「NSスタッド工法」が主流となって、近年は100%この工法で施工しています。



#### 特長

NSスタッド工法には、主に以下2点の特徴があります。

##### ①モニタリングによる品質管理【写真1】

溶接時間、溶接電流値、溶接電圧値、鉄筋の引上げ・押込み量を独自のモニターで管理することで、溶接部の欠陥を検出し、これを補修溶接することで100%全強の品質を確保します。

##### ②4連スタッドガン自動溶接【写真2】

上記にあげた溶接時間などを全てをコンピューターにより自動制御させ、スイッチを押すだけで自動的に溶接が完了します。また当社独自の4連続スタッドガンを使用することにより高能率の連続施工が可能となります。



写真1 モニタリング画面



写真2 4連続スタッドガン